

安来市スポーツ協会

これまでのあゆみ

当協会は、「安来市民及び市内の事業所に勤務する者が心身の健全な発達と明るい地域社会を形成するため、スポーツ並びにレクリエーションの普及振興を図る」ことを目的に、1市2町の合併を機に新たな組織として平成17年4月に設立し、各種活動を行ってきた。

また、令和4年7月には国、県の流れに合わせ、安来市体育協会から「安来市スポーツ協会」へ名称変更し、翌年の令和5年7月に地区体育協会も「地区スポーツ協会」へと名称変更した。この名称変更を契機に、地域のスポーツ振興や健康づくりを見つめ直す良い機会と捉え、各地区の活動を若い世代に繋いでいくことなど今後の活動に期待している。

現在の状況

競技部22団体、地域振興部（各地区スポーツ協会）17団体、少年育成部（スポーツ少年団28団体）、指導者部（スポーツ推進委員38人）の加盟団体があり、特に競技部においては年間約180事業を、地域振興部では約110の事業を実施。スポーツ少年団においては、軟式野球、バレーボール、剣道を中心とした市内外の団員交流を促進する9つの広域大会を実施するなど、当会の目的達成のため、市民のスポーツ振興の取り組みを行っている。



第43回全日本バレーボール小学生大会（男女同時出場）

これから

コロナ禍で競技団体や地区スポーツ協会の事業が中止あるいは縮小となるなど大きな影響があったが、感染症法上の位置づけが5類に移行されたことにより、各団体の活動もコロナ禍以前のように進むものと期待している。

令和7年度には、中国地方で全国高等学校総合体育大会が予定されており、安来市ではフェンシング、令和12年度には国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が島根県で開催予定であり、安来市はフェンシング、バレーボール、テニスが行われる。安来市から一人でも多く素晴らしいプレーヤーが育ち、それぞれの競技の裾野が広がっていくことを期待すると同時に、協会としてもさまざまな支援をしていきたい。人口減少、少子高齢化など構成団体を取り巻くスポーツ環境も厳しい状況がさらに進むと考えられるが、協会関係者のご協力を得ながら地域スポーツの推進と競技力向上を図っていく。



第19回西日本ハイシニアソフトボール大会安来開催



安来市民親善グラウンドゴルフ大会